



ほほ"紙トイレ™

問題

A. 上下水道処理施設の機能停止

+

B. 公共トイレの封鎖

+

C. 支援物資の輸送困難

+

D. 排泄物処理ができず二次感染

||

備蓄型組立式仮設トイレ

ほほ"紙トイレ™

詳しくは裏面へ

A. 上下水道処理施設の機能停止



ライフラインが復旧するのにかかる期間を早いものから並べると
電気<水道<ガス<下水道
下水道が復旧するのがもっとも困難で時間がかかります。

B. 公共トイレの封鎖



公共のトイレや避難所のトイレは震災時にまず封鎖することが
マニュアルで定められ、多くが使えなくなります。

C. 支援物資の輸送困難



道路交通網が断絶されることで、災害前に期待していた
仮設トイレも、初期2週間は届かないと想定しておく必要が
あります。

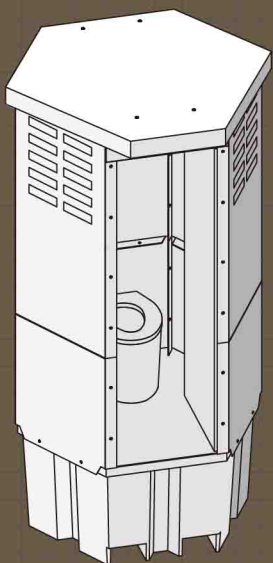
D. 排泄物処理が できず二次感染



使用済みの簡易トイレや紙オムツも、廃棄場所がないので
放置されて二次感染の発生源になっています。

**阪神淡路大震災や熊本地震でトイレ問題に直面した方々の要望を受けて
災害後すぐに使い始められる備蓄型組立式仮設トイレを開発致しました。**

この問題を解決するのは ほぼ紙トイレ™



ほぼ紙トイレ™ 本体

Point

1

軽い、コンパクト、誰でも組立て

- 軽さを追求したから、ほぼ紙製
- コンパクトにケースに収まり、備蓄時に省スペース設計
- 避難所の女性や子供だけでも運んで、組立まで完結

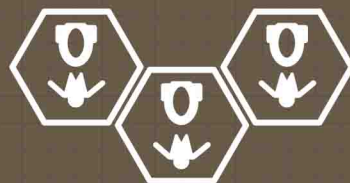


Point

2

耐水、屋外、個室洋式

- 材料は全て耐水性なので屋外に設置可能
- 避難所の外部に設置できるので臭い問題を解消
- 男女別、プライベートが確保できる個室洋室トイレ



Point

3

導入、事後処理が簡単

- 断裂の恐れのある電気・上下水道設備等が無くても使用可能
- 400ℓ (約1,600回分) 使用できる大容量タンク装備
- タンク満杯で封をして保管。最終処理は全焼却可の衛生設計

